

2020 年度

自己評価

2021 年 6 月 14 日

関東福祉専門学校

I. 学校の概要（2020年4月1日現在）

1. 学校名および校長名

(学校名) 関東福祉専門学校

(校長) 小山まり

2. 所在地

埼玉県鴻巣市中央 23-10

3. 沿革

年 月	事 項
1996年12月	関東福祉専門学校、建物竣工。
1997年 3月	介護福祉士養成施設として厚生省より正式指定。
	専門学校として埼玉県より正式認可。
1997年 4月	関東福祉専門学校開校。
	初代校長に堀口佳哉が就任。
1997年 6月	大田保健専門大学（韓国）と姉妹提携。
1999年 3月	第1期生卒業。
	本校、2号館竣工。
2003年 4月	堀口佳哉が名誉校長に就任。第2代目校長に阪田震一が就任。
2007年 6月	創立10周年記念式典・記念講演会実施。
2008年 4月	1学年定員80名から40名に減員。
2009年 4月	留学生受け入れ開始。職業訓練生（委託訓練生）受け入れ開始。
2010年 4月	EPA（経済連携協定）留学生受け入れ開始。
2011年 4月	介護雇用プログラム学生受け入れ開始。
2011年 11月	アンコール大学（カンボジア）と姉妹提携。
2015年 4月	介護福祉士実務者研修科（通信課程）設置。
2016年 4月	第2代校長阪田震一退任により、第3代校長に尾島朱美が就任。
2016年 10月	谷豊職業訓練学校（中国広州市）と姉妹提携。
2016年 11月	創立20周年記念式典・記念講演会実施。
2017年 6月	聖母医護管理専科学校（台湾）と姉妹提携。
2018年 4月	1学年定員40名から80名に増員。
2020年 4月	学校法人 恵濟学園に移管 第4代校長に小山まりが就任。

4. 設置課程・学科

分 野	課 程 名	学 科 名	備 考
教育・社会福祉	教育・社会福祉専門課程	介護福祉科	昼間部のみ

5. 学生数及び教職員数（2020年5月1日現在）

(1) 学生数 入学定員 80名 総定員 160名

第1学年	第2学年	合 計
29名	45名	74名

(2) 教職員数

教 員	職 員	合 計
10名	3名	13名

6. 建学の精神

社会福祉法人立としての特色を生かし* 福祉の現場と教育を結びつけた実践教育の観点から
福祉の推進に寄与する専門職「介護福祉士」の育成に努める

また、介護に関する知識と技術を習得することに加えて 「真の人間理解と人に使え学ぶこころ」を持ち続けられる

人間育成に重点を置く介護福祉士を目指し人間の福祉向上に貢献するスペシャリストを育成する
(*2020年度より学校法人恵済学園となる。建学の精神は設立当初のものである。)

7. 教育の基本方針

1. 人間性重視の教育の徹底を図る

1. 医療・福祉領域から信頼される実践教育及び協調性ある人材の育成を図る

1. 地域から支持され評価される規律ある教育及び指導を図る

1. 国際的視野で活動できる人材の育成を図る

1. 学生の卒後体制の確立を図る

II. 今年度の重点的目標と取り組み、課題と成果

a) 重点目標

1. アクティブ・ラーニングの充実化（介護総合演習と介護過程の連携・事例研究発表会）
2. 地域貢献活動と芸能福祉講座の取り組み
3. 除籍退学者の減少
4. 学生数確保
5. 国家試験合格率の向上
6. 人材育成・教員の研修参加

b) 取り組み

1. 介護総合演習と介護過程の連携によって、1年次の第2段階実習において介護過程を展開する能力を高め、2年次には事例研究発表会を充実させ、研究およびプレゼンテーション能力の向上を図る。
2. 「専修学校による地域産業中核的人材育成事業」に積極的に成果を報告することによって、地域貢献活動・芸能福祉講座の充実させる。
3. 入学試験における面接（特に留学生）のマニュアルを精緻化させる等、入学後のミスマッチを防止する。また、入学後は、学生の生活指導（アルバイト、社会保険支払い状況等）をきめ細かく実施する。
4. 広報委員会を立ち上げ、学生数確保に向けてより充実した広報活動を行う。
5. 国家試験対策講座の時間数増加、一部能力別クラスの実施、および非常勤講師を含めた講師会議を実施し、学校全体の教育力の向上を図る。
6. 教員に外部研修等の積極的参加を促す。

c) 成果

1. 1年次では、第2段実習は、新型コロナの影響で学内実習となってしまったが、事例をもちいることによって、課題であるアセスメントの意義について、理解を深めることができた。2年次の第3段階実習も学内実習となってしまったが、事例を用い、介護過程の評価に関しては、うまくいった場合とそうでない場合を想像しながら検討されることによって、事例研究発表会までつなげることができた。
2. 新型コロナの影響で、地域貢献活動・芸能福祉講座の取り組みは、最低限度となってしまったが、最終的に、文部科学省委託事業「専修学校による地域産業中核的人材養成事業」成果報告会・成果物につなげることができた。
3. 2年生は、生活指導を充実させ、退学者数をおさえることができた。1年生の除籍・退学率は、病気等、様々な理由により、前年度より増加してしまった。
4. 新たな試みとして社会人を対象とした説明会を行い、一定の成果が得られた。
5. 模擬テスト等で、留学生の成績は向上したものの、国家試験の合格レベルまで引き上げられた留学生は少なかった。
6. 教員の外部研修の参加は、前年度より増えた。

d) 課題

1. アクティブ・ラーニングについては、次年度も継続させて、引き続き介護過程の展開能力の向上を図る。
2. 地域貢献活動・芸能福祉講座は、文部科学省委託事業「専修学校による地域産業中核的人材養成事

業」としては、本年度で終了となるが、引き続き学内プログラムとして継続していく。

3. 1年生の除籍・退学者数は、やむを得ない事情ではあるが、前年度より増加してしまった。留学生に対する出入国在留管理庁の対応等、社会的状況も大きく変化しているので、引き続き入学試験・学生指導を充実させる。

なお、入学者に関しては、前年度より上昇しているが、本年度の卒業生人数より少なく、全学年としては、減少してしまった。上記とともに、合わせて学生募集についても、強化を図る。

4. 広報活動に関しては、前年度の成功した部分を引き続き継続させ、引き続き強化する。

5. 国家試験の合格率は、結果として前年度を下回ってしまった。特に留学生の合格率を引き上げることが課題である。ただし、留学生の平均点は上昇している。前年度に引き続き、国家試験対策を充実させ留学生の合格率の向上について、特に力を入れる。

6. 次年度も引き続き教員研修の積極的参加を促す。

III. 自己評価・学校関係者評価

基準1 教育理念、目的

大項目	中項目	小項目 設問項目	自己評価	回答項目
基準 1 教育 理念 目的 人材 育成 像	(1-1) 教育理念、 目的	1. 教育理念、目的を定めているか	<input type="radio"/>	①教育理念、目的は明文化されている
			<input type="radio"/>	②分かりやすく表現されている
		2. 教育理念、目的の周知を図っているか	<input type="radio"/>	① HPに公開している
			<input type="radio"/>	② 入学案内・履修の手引き・学校新聞・通信などに掲載し、入学検討者・学生・保護者・関連業などに配布し周知を行っている
			<input type="radio"/>	③ オープンキャンパスなどで入学検討者・学生・保護者に、教育理念、目的の説明を行っている
			<input type="radio"/>	④ 実習先の介護施設・企業には、実習打合せ時に周知している
			<input type="radio"/>	⑤非常勤講師を含めた教職員に周知している
				⑥周知の対象者を定め、周知の度合いを測定している
	(1-2) 人材育成像	1. 人材育成像を定めているか	<input type="radio"/>	①人材育成像は明文化されている
			<input type="radio"/>	②箇条書きにするなど分かりやすく表現している
				③知識・理解、汎用的技能（コミュニケーション・スキル・情報リテラシー）、態度・志向性（リーダーシップ・倫理観）など観点別に分類し、偏りのないことを確認している
		2. 人材育成像は社会のニーズに適合しているか		①人材に対する社会のニーズ調査を定期的に行っている
			<input type="radio"/>	②学校関係者委員会や教育課程編成委員会で人材要件の適合性について定期的に検討を行っている
			<input type="radio"/>	③関係企業からの評価を定期的に受けている
			<input type="radio"/>	④人材育成像の見直しを定期的に行っている
		3. 人材育成像の周知を図っているか	<input type="radio"/>	① HPに公開している
			<input type="radio"/>	② 入学案内・履修の手引き・学校新聞・通信などに掲載し入学検討者・学生・保護者・関連業界などに配布し周知を行っている
			<input type="radio"/>	③ オープンキャンパスなどで入学検討者・学生・保護者に、人材育成像の説明を行っている
			<input type="radio"/>	④ 実習先の介護施設・企業には、実習打合せ時に周知している
			<input type="radio"/>	⑤非常勤講師を含めた教職員に周知している
				⑥ 周知の対象者を定め、周知の度合いを測定している

(学校関係者評価委員会による評価)

- ・特に意見はなかった。

基準2 教育活動

大項目	中項目	小項目 設問項目	自己評価	回答項目
基準 2 教育 活動	(2-1) 人材育成像 に沿った教 育課程の編 成・実施方 針	1. 人材育 成像に沿 った教育 課程の編 成・実施 方針を定 めている か	○	①教育課程の編成及び実施方針を明文化している
			○	②教育課程の編成及び実施方針は箇条書きなどし、分かりやすくなっ てている
			○	③カリキュラム構造、教育の方法、評価の方法、成績評価など段階的 に分かりやすく表現されている
			○	④教育課程の編成及び実施方針には専門学校の特徴として企業との連 携体制や実践的な職業教育について記載されている
			○	⑤教育課程の編成及び実施方針には方針通りのカリキュラムが組めた か、教育方法が実施されたかなどを確認する方法が記載されている
		2. 人材育 成像に沿 った教育 課程の編 成・実施 方針の周 知を図っ ているか	○	①HPに公開している
			○	②履修の手引きに記載しガイダンスごとに、学生向けの周知活動をお こなっている
			○	③教職員会議などで教職員に周知している
			○	④教職員の周知の程度を測定している
	(2-2) 専攻分野に おける企業 等との連携 体制の確保 と実践的な 職業教育の 実施	1. 教育 課程編成 委員会や 介護福祉 施設、企 業などと 連携して 教育課程 を編成し ているか	○	①教育課程編成委員会を設置している
			○	②教育課程編成に関連施設、企業の意見を聞く機会を設けている
			○	③実習受入先の施設などの意見を聴取している
			○	④卒業生の意見を聴取している
			○	⑤②③④の意見を基に教育課程編成委員会が定期的に点検・評価し、 改善している
		2. 介護 福祉施 設、企業	○	①実践的な職業教育の内容になっているかをシラバスで点検・評価を 行っている
			○	②連携している施設・企業とは事前・事後の打ち合わせを行っている

	などと連携して実践的な職業教育が実施されているか	<input type="radio"/>	③連携している施設、企業から授業に盛り込むべき内容について意見を聴取している
		<input type="radio"/>	④連携している施設、企業に授業参観を依頼し、現場で生かせる授業に努めている
		<input type="radio"/>	⑤連携している施設、企業と共同して学習会などを行っている
		<input type="radio"/>	⑥地域住民、地域団体・機関などと連携した実践的な教育（授業・演習への招聘、体験学習など）を行っている
(2-3) 介護分野における教育の特色ある取組み	1. 講義・演習などにおけるアクティブラーニングを開拓しているか	<input type="radio"/>	①アクティブラーニングを導入している科目のシラバスには到達目標や実施計画が記載されている
		<input type="radio"/>	②アクティブラーニングを導入している科目は（60）%程度である
		<input type="radio"/>	③介護福祉分野に特化して工夫されたアクティブラーニングは（80）%程度である
		<input type="radio"/>	④アクティブラーニングの導入による目標達成の割合を測定する指標を定めている
		<input type="radio"/>	⑤アクティブラーニングの展開による学修成果を把握している
		<input type="radio"/>	⑥アクティブラーニングの展開の成果・課題の把握をもとに、授業改善に取組んでいる
	2. 施設、企業などと連携して実習、実技又は演習を行っているか	<input type="radio"/>	①教育課程における実習等の位置づけ、介護福祉施設などの連携のあり方、方針などを明文化している
		<input type="radio"/>	②実習先と実施要項・マニュアルについて、検討を行う機会を設けている
		<input type="radio"/>	③定期的に実習指導者連絡会議などを開催している
		<input type="radio"/>	④実習の学修成果を把握するために、各段階における「達成目標・課題」「身につけるべき価値・態度・知識・技術」などを明文化しており、実習などの成績評価の方法や基準を作成している
		<input type="radio"/>	⑤巡回指導教員と実習指導者が、巡回指導の計画（日程）について確認する機会を設けている
	3. 介護分野の教育全般において、人材育成像が示す能力が身につくような取り組	<input type="radio"/>	①人材育成像が示す能力が身に付くカリキュラムになっているか点検・評価を行っている
		<input type="radio"/>	②成績評価の方法は人材育成像が示す能力を身に付けさせるために妥当であるか点検・評価を行っている
		<input type="radio"/>	③カリキュラムに沿った授業を行っているか調査を行っている
		<input type="radio"/>	④シラバスに記載通りの成績評価の方法を実行しているか調査を行っている
		<input type="radio"/>	⑤個々の学生の学習状況や進路に応じた目標を定めている

		みを行つ ているか	<input type="radio"/>	⑥提出物や試験に関して、フィードバックを行っている
			<input type="radio"/>	⑦介護分野の人材育成像が示す能力を体験的に身に付けることのできるプログラムを導入している。
			<input type="radio"/>	⑧具体的な達成目標を定め、目標を達成したことを測定している
	4. 介護の 現場にお いて必要 なコミュ ニケーシ ョン能 力が身に付 くよう な取組みに ついて		<input type="radio"/>	① 利用者や家族の言葉を傾聴し、受容の姿勢で、共感的理解などができるようなプログラムを導入している
			<input type="radio"/>	② 体験的にコミュニケーション技術を習得できるプログラム(ロールプレイ、グループディスカッションなど)を導入している
			<input type="radio"/>	③ 障害者、難病等当事者との実践的なコミュニケーション体験ができるプログラムを導入している
	5. 人権・ 尊厳の価 値、法令 遵守の意 義につい て理解 し、倫理 的行動 (身体拘束 禁止・虐待 防止等も含 む)がで きる取組 みについ て		<input type="radio"/>	① 人権・尊厳を理解する事が、介護実践における基本的な姿勢であることを体験できるプログラムを指導している
			<input type="radio"/>	② 個人の生活や背景、年齢や社会変化に伴い、価値が変化することを通して、多様性を認める必要性を体験できるプログラムを導入している
			<input type="radio"/>	③ 身体拘束・虐待について考える機会を導入している
			<input type="radio"/>	④介護の質向上に向けてチームマネジメント能力を身に付けることのできるプログラムを導入している
	6. 認知症 や障害の ある人の 介護に関 する基本 的な知 識・技術 が身に付 く		<input type="radio"/>	①認知症や障害を引き起こす疾患について医学的・心理的・社会的等、多角的な理解ができるようなプログラムを導入している
			<input type="radio"/>	②認知症の状況の如何によらず、すべての人が尊厳ある存在であることを体験できるプログラムを導入している
			<input type="radio"/>	③認知症への専門的な対応の手法(パーソンドセンタードケア、回想法、リアリティオリエンテーション、バリデーション、ユマニチュード等)を体験できるプログラムを導入している

	く取組みについて	<input type="radio"/> ④認知症や障害のある人の支援に対して地域連携や他職種協働による支援を体験的に理解できるプログラムを導入している。
	7. 自立支援や予防を目的に潜在能力を引き出す介護技術が身に付くような取組みについて	<input type="radio"/> ①自立した生活に向けて介護過程と連動した、根拠のある、介護技術としての教育が行なわれている。 <input type="radio"/> ② グループワークの活用などを通して、介護と自立支援の違いを体験できるプログラムを導入している <input type="radio"/> ③福祉用具・福祉機器を実際に活用し、自立支援が体験できるプログラムを導入している <input type="radio"/> ④自分の心身を守るために理論と実践を体験できるプログラムを導入している
(2-4) 教員の組織体制	1. 専攻分野における資格・要件を備えた教員を確保しているか	<input type="radio"/> ①教員名簿（専任・非常勤）を作成している <input type="radio"/> ②科目ごとに担当教員の必要な資格の一覧表を作成している <input type="radio"/> ③教員からは必要な資格が取得済みである証拠の提出を求めている <input type="radio"/> ④法令上必要な教員が確保されていることを確認している <input type="radio"/> ⑤全教員について授業の持ちコマ数に関する条件と持ちコマ数一覧を作成している <input type="radio"/> ⑥持ちコマ数に偏りが無いかなど定期的に点検を行っている
	2. 教員の資質向上への取組・施設等と連携した研修会を行っているか	<input type="radio"/> ①企業等と連携し、専攻分野における実務に関する研修などを行っている <input type="radio"/> ②授業及び指導力に関する研修を企業などと連携して実施している <input type="radio"/> ③研修参加を奨励し、教員の費用負担の軽減措置をとっている <input type="radio"/> ④全国規模・地域規模の研修は、全教職員に公平に参加機会を提供している <input type="radio"/> ⑤自己啓発を図る為、研究費を設けている <input type="radio"/> ⑥FD研究会を開催している
	3. 教員の資質向上への取組を行っているか	<input type="radio"/> ①授業評価は全学的に統一した様式で行っている <input type="radio"/> ②授業評価は学期毎に実施している <input type="radio"/> ③授業評価はIT化して実施している <input type="radio"/> ④授業評価の結果は教員個人にフィードバックするとともに全体の分析を行いフィードバックしている <input type="radio"/> ⑤全体の授業評価の結果は毎回分析・評価している <input type="radio"/> ⑥授業評価の結果は学生に公開している

			<input type="radio"/> ⑦教員相互による授業評価を行っている <input type="radio"/> ⑧授業評価の結果を基に研究会のような FD (ファカルティ・ディベロップメント) 活動を行っている <input type="radio"/> ⑨授業評価の結果に関して具体的な達成目標を定めている <input type="radio"/> ⑩授業評価の結果を昇格・昇給などの参考資料として活用している
	4. 必要な組織体制を整備しているか		<input type="radio"/> ①課程 (学科) 毎に教員の必要な組織体制を明文化している <input type="radio"/> ②課程ごとに教員の必要な組織体制の構築を確認している <input type="radio"/> ③教員の業務分担・責任体制は職務分掌規程で定めている <input type="radio"/> ④組織体制に非常勤講師を含む全科目担当者間会議が含まれている <input type="radio"/> ⑤同一科目担当者間会議が含まれている <input type="radio"/> ⑥FD 委員会議が含まれている
			<input type="radio"/> ①卒業要件、進級要件、単位認定要件、成績評価基準などは学則に明文化している。 <input type="radio"/> ②卒業要件、進級要件、単位認定要件、成績評価基準などについては HP、履修の手引きなどに掲載し、学生に周知している <input type="radio"/> ③シラバスに成績評価基準、及び評価方法を記載している <input type="radio"/> ④成績評価は、授業への参加、テストの成績、実習レポートの提出など多面的に評価することを教員間で合意している
			<input type="radio"/> ①成績評価の結果は教職員会議で共有している <input type="radio"/> ②成績評価・単位認定、進級・卒業判定について、会議等を開くなど客観性・統一性の確保に取組んでいる <input type="radio"/> ③ポートフォリオやレポートにおいてはループリックを作成して評価を行っている <input type="radio"/> ④成績評価方法は、人材育成像が示す能力を身に付けさせる為に適切な点検をしている <input type="radio"/> ⑤学習成果や授業改善の指標として GPA を用いている。
			<input type="radio"/> ①学生相談室などを設置している <input type="radio"/> ②学生相談室規程がある <input type="radio"/> ③専任カウンセラー（担当者）を配置している <input type="radio"/> ④相談ファイルの管理は個人情報として管理し、プライバシーの保護を遵守している <input type="radio"/> ⑤セクシュアル・ハラスメントや苦情相談に関して対応している
			<input type="radio"/> ①留学生専門の担当者を配置している
(2-5) 成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準を明確に定めているか			<input type="radio"/> ①卒業要件、進級要件、単位認定要件、成績評価基準などは学則に明文化している。 <input type="radio"/> ②卒業要件、進級要件、単位認定要件、成績評価基準などについては HP、履修の手引きなどに掲載し、学生に周知している <input type="radio"/> ③シラバスに成績評価基準、及び評価方法を記載している <input type="radio"/> ④成績評価は、授業への参加、テストの成績、実習レポートの提出など多面的に評価することを教員間で合意している
(2-6) 学生相談	1. 学生相談に関する体制を整備し、適切に運営しているか		<input type="radio"/> ①学生相談室などを設置している <input type="radio"/> ②学生相談室規程がある <input type="radio"/> ③専任カウンセラー（担当者）を配置している <input type="radio"/> ④相談ファイルの管理は個人情報として管理し、プライバシーの保護を遵守している <input type="radio"/> ⑤セクシュアル・ハラスメントや苦情相談に関して対応している <input type="radio"/> ①留学生専門の担当者を配置している

		<p>2. 留学生が在籍する場合、相談体制を整備し、適切に運営しているか</p> <p>3. 保護者と適切に連携しているか</p> <p>1. 学生の経済的側面に対する支援制度を整備し、適切に運用しているか</p> <p>2. 社会人学生への教育環境を整備し、適切に運営しているか</p> <p>3. 課外活動に対する支援制</p>	<input type="radio"/> ②国別に卒業生や上級生によるサポート体制がある
			<input type="radio"/> ③法律などに関連する事項の場合は、公的な機関などに教職員が必要に応じて同行している
			<input type="radio"/> ④留学生と定期的に個人面談を行い生活やアルバイトの状況を詳細の把握し「留学生生活状況記録簿」などに記録している
			<input type="radio"/> ⑤相談ファイルの管理は個人情報として管理し、プライバシーの保護を遵守している
			<input type="radio"/> ⑥学内で学生の交流会を実施している
			<input type="radio"/> ①保護者会があり、定期的に会合を開催している
			<input type="radio"/> ②学校新聞・SNSなどを保護者や保証人に学校情報などを伝えている
			<input type="radio"/> ③授業公開日・参観日を設けている
			<input type="radio"/> ④学生本人の了解の上、保護者や保証人に成績評価・出席日数などを送付している
			<input type="radio"/> ⑤適宜、保護者・保証人と学生との三者面談を行っている
(2-7) 学生生活の支援			<input type="radio"/> ①学資支援制度運営規程を明文化している
			<input type="radio"/> ②独自の学費支援制度がある
			<input type="radio"/> ③学資の減免制度がある
			<input type="radio"/> ④学資の分割納付制度がある
			<input type="radio"/> ⑤オープンキャンパス等で入学前の学費支援について説明を行っている
			<input type="radio"/> ⑥経済支援の相談窓口を常設している
			<input type="radio"/> ⑦学生の学資支援制度の利用状況は把握し、一覧表を作成している
			<input type="radio"/> ①社会人が学べるように夜間の授業を開講している
			<input type="radio"/> ②土、日曜日の補講を開講している
			<input type="radio"/> ③土、日曜日、夜間も図書室が使用できる日を設けている
			<input type="radio"/> ④Webによる相談窓口を設けている
			<input type="radio"/> ①クラブ活動の参加者名簿、活動報告書の提出を義務付けている
			<input type="radio"/> ②学校新聞・SNSなどでクラブ活動状況を伝えている

		度及び体制を整備し、適切に運用しているか	<input type="checkbox"/> ③運営費の補助金を支給している <input checked="" type="checkbox"/> ④必要に応じて教職員が引率している
(2-8) 卒業生への支援	1. 卒業生への支援体制を整備し、適切に運営しているか	<input checked="" type="checkbox"/> ①同窓会がある	
		<input checked="" type="checkbox"/> ②毎年同窓会を開催している	
		<input checked="" type="checkbox"/> ③同窓会には教職員も参加している	
		<input checked="" type="checkbox"/> ④卒業後も再就職等相談に対応している	
			⑤介養協や介護士団体などの講演会や技術講習会の案内を送付している
		<input checked="" type="checkbox"/> ⑥キャリアアップの講習会や技術講習会を開催している	
(2-9) 入学者の募集、入学選考	1. 入学者受け入れ方針を明確にしているか	<input checked="" type="checkbox"/> ①入学者受け入れ方針は明文化されている	
		<input checked="" type="checkbox"/> ②箇条書きにするなど分かりやすく表現している	
		<input checked="" type="checkbox"/> ③知識・理解、汎用的技能（コミュニケーション・スキル・情報リテラシー等）、態度・志向性（リーダーシップ・倫理観など）観点別に分類し、偏りのないことを確認している	
		<input checked="" type="checkbox"/> ④募集活動は入学者の受け入れ方針に従っている	
	2. 入学者の募集活動は入学者の受け入れ方針に従って適正かつ効果的に行っているか	<input checked="" type="checkbox"/> ①各入試形態に応じて、適切な時期に願書の受付期間を設定している	
		<input checked="" type="checkbox"/> ②学校案内が分かりやすいか、知りたいことが載っているかなどオープンキャンパス参加者から意見を聴取している	
		<input checked="" type="checkbox"/> ③スマートフォンによるツイッターやインスタグラム等の多様なメディアを用いて学校のPR活動を行っている	
		<input checked="" type="checkbox"/> ④高校推薦入試を導入している	
	3. 入学選考方法	<input checked="" type="checkbox"/> ②AO入試を導入している	
		<input checked="" type="checkbox"/> ③指定校推薦入試を導入している	
		<input checked="" type="checkbox"/> ④社会人推薦入試を導入している	
		<input checked="" type="checkbox"/> ⑤留学生入試を導入している	
		<input checked="" type="checkbox"/> ⑥一般入試を導入している	
		<input checked="" type="checkbox"/> ①入試選考方法は明文化されている	
	4. 入学選考方法を	<input checked="" type="checkbox"/> ②箇条書きにするなど分かりやすく表現している	

		明確に定め、適正に運用しているか	<input type="radio"/> ③入学選考方法は入学者受け入れ方針に沿って作成している <input type="radio"/> ④入学選考は規程に従い、公平、正確に審査している <input type="radio"/> ⑤入学選考方法の妥当性については定期的に見直しを行っている
		5. 入学手続きは適正に行っているか	<input type="radio"/> ①規程に基づき入学手続きを行っている <input type="radio"/> ②入学辞退者について授業料の返還に関して明記している <input type="radio"/> ③明記にしたがい授業料の返還を取り扱っている
		1. 施設・設備は教育上の必要性に対応できるよう整備しているか	<input type="radio"/> ①実習室に関する設置基準・養成施設指定基準を明示している <input type="radio"/> ②実習室の現状を把握し、設置基準・養成施設指定基準に適合していることを定期的に確認している <input type="radio"/> ③備品に関する養成施設指定基準を明示している <input type="radio"/> ④備品に関する現状を把握し、養成施設指定基準に適合していることを定期的に確認している
		2. 施設・設備などの日常点検、定期点検、補修、更は適切に対応しているか	<input type="radio"/> ①設備は業者に定期点検を依頼している <input type="radio"/> ②実習用の機材、用具は事前、事後の点検している <input type="radio"/> ③実習用の機材、用具は計画的に更新・購入計画を策定している <input type="radio"/> ④福祉用具取扱い業者に、最新の福祉用具等の紹介を依頼している
	(2-10) 専攻分野における教育上の必要性に対応した施設・設備	3. 専攻分野の教育に必要な専門書及び参考図書を図書室に配架し、学生に必要に応じ閲覧できるよう環境を提供しているか	<input type="radio"/> ①図書館は採光、防音、空調設備を整備している <input type="radio"/> ②必要な蔵書、文献、雑誌、参考書等を整えている <input type="radio"/> ③適切な広さで書籍や机を利用しやすく配置している <input type="radio"/> ④蔵書はデータベース化して、P Cで検索できる <input type="radio"/> ⑤蔵書は探し易いように分類されている <input type="radio"/> ⑥社会人にも利用しやすい閲覧時間帯になっている <input type="radio"/> ⑦貸出にも対応している <input type="radio"/> ⑧介護福祉基礎分野の参考図書（ 423 ）冊

		<input type="radio"/>	⑨介護福祉分野の専門書（1120冊）
		<input type="radio"/>	⑩介護福祉分野の定期刊行物（12種類）

（学校関係者評価委員会による評価）

- ・介護実習で「利用者の情報を得る」ということはコミュニケーションとは違い、その人（個性）を知るということだと考える。学校での訓練として、友達とペアを組み、その人のより良い、楽しい生活のためにはどんな情報を得たらよいかなどの練習をしてみるのはどうか。
- ・留学生の日本語能力はどうか。受け入れ施設側として、外国籍との意思の疎通が難しいと感じることがある。
- ・芸能福祉講座は、いい取り組みだと考える。自分の勤めている施設において学生に参加してもらいたい。
- ・オンラインの芸能福祉活動などは良いと思う。マスク越しの表情の表現方法を考えていかなければならぬ。

基準3 学習成果

大項目	中項目	小項目 設問項目	自己評価	回答項目
基準3 学習成果	(3-1) 専攻分野の 教育活動に おける目標 達成と改善	1. 学生が 身に付け た学修成 果（アウトカム） は、目標 とする水 準にある か	<input type="radio"/>	①目標を定めている
			<input type="radio"/>	②目標を達成したことを測定する評価指標、評価基準を定めている。
			<input type="radio"/>	③目標を達成したことを評価指標、評価基準により判定している
				④判定結果目標を達成している
			<input type="radio"/>	⑤概ね目標を達成し、ある程度成果を上げている
				⑥目標を達成できず、あまり成果を出していない
	(3-2) 就職率向上 の取組みと 成果	2. 目標達 成が十分 でない場 合、教育 活動など の改善を 図ってい るか	<input type="radio"/>	①判定結果を教職員で共有する機会を設けている
			<input type="radio"/>	②目標未達成の原因を専門的見地から分析を行っている
			<input type="radio"/>	③分析結果を基に対策会議などを開催している
			<input type="radio"/>	④教育活動等の改善対策を実行している
		1. 就職 支援・相 談体制を	<input type="radio"/>	①就職支援・指導委員会を設置し、運営している。
			<input type="radio"/>	②就職相談室や就職支援室を設置している
			<input type="radio"/>	③就職支援・指導に関する年間計画（目標・実施方針など）を策定している

		確立して いるか	<input type="radio"/>	④学生個々の「進路指導（相談・支援）カード」などを作成している
			<input type="radio"/>	⑤入学時から定期的に個別面接を行い、進路について意識させるとともに、要望・希望を確認して進路指導カードに記入している
(3-3) 専攻分野 における資 格取得率の 向上の取組 みと成果	2. 就職率 向上に十 分に取り 組んでい るか		<input type="radio"/>	①連携している施設・企業の採用担当者に施設・企業の仕事、役割等についての講演を依頼している
			<input type="radio"/>	②連携している施設・企業の求人を優先している
				③履歴書の書き方の研修を外部講師に依頼して行っている
				④面接の受け方、マナー等の研修を外部講師に依頼して行っている
			<input type="radio"/>	⑤様々な介護現場を見学・実習し介護分野の幅を広げることによって、就職への意欲を高めている
			<input type="radio"/>	⑥就職状況に関するデータは全て電子化し、教職員・学生が閲覧できるようにしている
			<input type="radio"/>	⑦分析結果を共有するシステムや機会を設けている
			<input type="radio"/>	⑧分析結果を基に対策会議などを開催している
	3. 就職率 は目標と する水準 にあるか		<input type="radio"/>	①就職率の目標を設定している
			<input type="radio"/>	②目標を達成したことを測定する評価指標、評価基準を定めている。
			<input type="radio"/>	③目標を達成している
				④概ね目標を達成し、ある程度成果を上げている
				⑤目標を達成できず、あまり成果を出していない
	4. 離職率 や職場定 着率を改 善する取 組をして いるか		<input type="radio"/>	①一年未満の離職者から相談を受けると共に離職理由を調査する部署を設けている
				②一年未満の離職者からの相談記録や離職理由をデータ化し、共有できるシステムを構築している
			<input type="radio"/>	③一年未満の離職率や職場定着率の改善に関して対策会議を開催している
	1. 国家 試験受験 対策の体 制を確立 してい るか		<input type="radio"/>	①国家試験（以下国試）対策（以下国試対策）の方針を決定する会議を設けている
			<input type="radio"/>	②国試対策の方針は明文化されている
			<input type="radio"/>	③国試対策会議で毎年度国家試験合格率の目標値を設定している
			<input type="radio"/>	④国家資格の内容、取得の意義について教職員が共有する機会を設けている
			<input type="radio"/>	⑤国試対策の方針に専門科目の内容と国試を関連付けた授業を行うことが含まれており、それを教員間で合意している
			<input type="radio"/>	①国試対策の方針にしたがい特別講座や補講を計画的に実施している

			<input type="radio"/> ②不合格者の卒業後の指導について窓口を設け継続して対応している <input type="radio"/> ③模擬試験を受けることを奨励している <input type="radio"/> ④個人指導を取り入れている <input type="radio"/> ⑤学習の仕方を指導している
			<input type="radio"/> ①目標を達成し、成果を上げている <input type="radio"/> ②概ね目標を達成し、ある程度成果を上げている <input type="radio"/> ③目標を達成できず、あまり成果を出していない <input type="radio"/> ④ ②③の場合、全国平均などとの比較・分析など行い、国試対策方針決定会議にフィードバックを行っている
			<input type="radio"/> ①資格名（アクティビティ・ワーカー） <input type="radio"/> ②授業内容と関連して、取得を勧めている <input type="radio"/> ③介護福祉士の仕事と関連付けて取得を勧めている
			<input type="radio"/> ①過去数年間の学年別、学科別の休学・退学者数はデータ化している。 <input type="radio"/> ②退学の実情や要因のデータを分析している。 <input type="radio"/> ③休退学防止のチェックリストを基に学生と定期的に個別面談をしている <input type="radio"/> ④退学の可能性のある学生への個別対策は全教職員で共有している <input type="radio"/> ⑤保護者や保証人などに定期的に学校新聞・通信を配布し、また、成績表を送付している
			<input type="radio"/> ①退学率の目標を達成している <input type="radio"/> ②退学率の目標が適切であったか検証している <input type="radio"/> ③退学率は年々減少している <input type="radio"/> ④退学率の目標を概ね達成している
(3-4) 退学率低減 への取組み と成果	1. 退学率 低減へ の、取組 み		<input type="radio"/> ①就職先福祉施設・企業などから卒業生の勤務実績について情報を得る機会を設けている <input type="radio"/> ②就職先の福祉施設など企業へアンケート調査を依頼している <input type="radio"/> ③関連学会の大会の発表や論文をチェックし、卒業生の研究状況を把握している
(3-5) 卒業生の専 攻分野にお ける社会的 評価	2. 退学率 は目標と する水準 にあるか		<input type="radio"/> ①就職先福祉施設・企業などから卒業生の勤務実績について情報を得る機会を設けている <input type="radio"/> ②就職先の福祉施設など企業へアンケート調査を依頼している <input type="radio"/> ③関連学会の大会の発表や論文をチェックし、卒業生の研究状況を把握している

などの状況把握を行っているか	○	④卒業生交流会で互いの勤務実績や研究実績について情報交換の機会を設けている
		⑤定期的に通信を発送し、卒業生の勤務実績や研究実績について広報活動に努めている
	○	①改善の取組に関する会議を開催している
		②改善策に優先順位を付けて取り組んでいる
		③各改善策に対して振り返りの会議を開催している

(学校関係者評価委員会による評価)

- ・留学生の国家試験合格率を上げてもらいたい。そのためには日本語習得が必須となる。日本語習得も含め引き続き指導していってほしい。
- ・卒業すれば国家試験に合格できる体制づくりを整備していただきたい。そのようにしていただければ、学生に自信がつく。それは留学生であっても、資格取得が重要である。

基準4 内部質保証

大項目	中項目	小項目 設問項目	自己評価	回答項目
基準4 内部質保証	(4-1) 関係法令・ 専修学校設 置基準等の 遵守と適正 な学校運営	1. 法令や 専修学校 設置基準 等を遵守 し、適正 な学校運 営を行っ ているか	○	①学校運営上必要な諸規程などの一覧表を作成している
			○	②一覧表の規則・規程などを適切にファイリングしている。
			○	③教職員は規則・規程などを自由に閲覧できるようにしている
			○	④ハラスメントに関する方針を明文化している
			○	⑤ハラスメント対応マニュアルを作成している
			○	⑥ハラスメントなどの相談窓口を設置している
			○	⑦コンプライアンスの相談・通報窓口を設置している
		2. 個人情 報の保護 のための 対策をと っている か	○	①個人情報保護に関する方針・規程などを明文化している
			○	②個人情報保護に関する対応マニュアルを作成している
			○	③個人情報の取り扱い、運営などの関する会議を定期的に開催している。
			○	④個人情報の漏洩が起きた場合、緊急対策会議などを招集するシステムを構築している
			○	⑤学生には入学時に個人情報保護に関する方針・規程・取扱要領などを説明している
			○	①自己評価の目的・方針を明文化している

			<input type="radio"/> ②自己評価実施方針を明文化している <input type="radio"/> ③自己評価実施のマニュアルを作成している <input type="radio"/> ④実施マニュアルには目標達成は評価指標と評価基準にしたがって行うことが謳われている <input type="radio"/> ⑤自己評価報告書は学科ごとに作成している <input type="radio"/> ⑥自己評価報告書はHPで公開している <input type="radio"/> ⑦自己評価報告書は学校関係者評価委員に配布されている <input type="radio"/> ⑧自己評価報告書は教職員に説明配布している
(4-2)	学校評価の実施と結果の公表	1. 学校評価の実施と結果の公表	<input type="radio"/> ①学校関係者評価委員会の方針や運営規程は明文化されている <input type="radio"/> ②学校関係者評価の評価項目を定めている <input type="radio"/> ③学校関係者評価委員会は改善の提案ができるシステムとなっている <input type="radio"/> ④学校側は学校関係者評価委員会の改善に関する提案に対して回答をしなければならないシステムになっている <input type="radio"/> ⑤学校関係者評価委員会を定期的に開催している <input type="radio"/> ⑥学校関係者評価委員の構成は定期的に見直しをしている <input type="radio"/> ⑦学校関係者評価委員の評価結果は報告・提案書としてまとめている <input type="radio"/> ⑧学校関係者評価委員の評価結果は報告・提案書を基に教職員会議で報告説明している <input type="radio"/> ⑨学校関係者評価委員の報告・提案書とそれに対する学校の対応についてHPで公表している
(4-3)	学校評価に基づく改善の取組と教育情報公開	1. 学校評価の結果をフィードバックし、学校教育と学校運営の質の改善と向上のための取組を組織的かつ継続的に行っていている	<input type="radio"/> ①評価結果を基に学校改善を推進する担当部門がある <input type="radio"/> ②評価結果を基に学校改善は全教職員で取り組んでいる <input type="radio"/> ③取組み状況、進捗状況は教職員会議で周知されている <input type="radio"/> ④改善の達成目標を定めている <input type="radio"/> ⑤目標の達成状況を測定する評価指標と評価基準を作成している <input type="radio"/> ⑥改善結果は期待通りで目標を達成している <input type="radio"/> ⑦改善結果はほぼ期待通りで目標をおおむね達成している <input type="radio"/> ⑧改善結果は期待通りではなく、目標は達成されていない
			<input type="radio"/> ①学校の情報公開に関する方針やの規程を明文化している

		2. 教育情報に関する情報公開を積極的に行っているか	<input type="radio"/> ②情報公開は規定に従って行われている	
			<input type="radio"/> ③職業実践専門課程の認定要件に規定されている公開情報はHP上で更新して公開している	
			<input type="radio"/> ④教育情報に関して積極的に情報公開に努めている	

(学校関係者評価委員会による評価)

- ・特に意見はなかった。

基準5 学校運営・財務

大項目	中項目	小項目 設問項目	回答欄 ○を付ける	回答項目
基準 5 学校 運営 ・ 財務	(5-1) 運営方針・ 事業計画	1. 運営方針・事業計画・重点目標を適正な手続きで決定しているか	<input type="radio"/> ①学校運営会議を定期的に開催している	
			<input type="radio"/> ②学校運営会議では事業計画、予算計画、中期計画等の審議をしている	
			<input type="radio"/> ③会議議事録を作成し、教職員が何時でも閲覧できるようにしている	
		2. 運営方針と事業計画・重点目標を文書化し、教職員に周知・徹底しているか	<input type="radio"/> ①学校運営会議の成果物（運営方針・事業計画・重点目標）は明文化されている	
			<input type="radio"/> ②成果物は運営委員に配布している	
			<input type="radio"/> ③成果物は教職員がいつでも閲覧できるようになっている	
			<input type="radio"/> ④事業計画書、重点目標の執行体制と業務分担は明確に定められている	
			<input type="radio"/> ⑤事業計画書を戦略、スケジュール化している	
			<input type="radio"/> ⑥事業計画書の戦略、スケジュールは教職員が共有している	
			<input type="radio"/> ⑦達成目標は明文化されている	
(5-2) 学校運営組織の整備	1. 学校運営組織を適正に運営しているか		<input type="radio"/> ⑧目標の達成を測定する評価指標と評価基準を設定している	
			<input type="radio"/> ⑨目標の達成を測定している	
			<input type="radio"/> ①理事会、評議員会は、寄附行為に基づき運営開催していることを確認している	
			<input type="radio"/> ②理事会、評議員会の議事録は作成している	
			<input type="radio"/> ③理事会、評議員会の議事録は役員に配布している	
			<input type="radio"/> ④理事会、評議員会の議事録は教職員が閲覧できるようにしている	

		<input type="radio"/> ⑤寄附行為の改定は、適正な手続きを経て行っていることを確認している <input type="radio"/> ⑥諸規程は適切に運用されていることを定期的に確認している <input type="radio"/> ⑦諸規程は定期的に見直している <input type="radio"/> ⑧規則・規程等は適正な手続きを経て改正していることを確認している <input type="radio"/> ⑨学校運営に必要な事務及び教学組織はそれぞれ部、課に分かれ、位置づけが明確になっている <input type="radio"/> ⑩教職員の業務分担・責任体制は職務分掌規程で定めている <input type="radio"/> ⑪各部・課は適切な人員で構成されている <input checked="" type="radio"/> ⑫教職員の職制等に応じた研修を導入している
	2. 人事、給与に関する制度を整備し、適正に運用しているか	<input type="radio"/> ①採用基準、採用手続及び昇給・昇格、人事考課に関する基準・規程等を作成している <input type="radio"/> ②採用基準、採用手續及び昇給・昇格、人事考課に関する基準・規程等は、教職員が何時でも閲覧できるようにしている <input type="radio"/> ③昇給・昇格、人事考課に関する基準・規程等に従い 適正に運用されているか確認している <input type="radio"/> ④給与規程は明文化され、教職員がいつでも閲覧できるようにしている <input type="radio"/> ⑤給与規程が適正に運用されているか確認をしている <input type="radio"/> ⑥人事評価制度を導入している
(5-3) 学校における安全対策・防災組織	1. 学校における安全管理体制を整備し、適切に運営しているか	<input type="radio"/> ①学校安全計画を策定している。 <input type="radio"/> ②学校安全計画は教職員がいつでも閲覧できるようにしている <input type="radio"/> ③防犯マニュアルを作成している <input type="radio"/> ④授業中や実習中の事故などに関するマニュアルを作成している <input type="radio"/> ⑤授業中や実習中の事故などに関する安全体制を整備している
	2. 防災に関する組織体制を整備し、適切に運営しているか	<input type="radio"/> ①消防計画を作成し消防省に届けている <input type="radio"/> ②消防計画は教職員に周知を図っている <input type="radio"/> ③年に1度以上消防訓練を実施している <input type="radio"/> ④消防訓練（避難訓練）は学生も含めて実施している <input type="radio"/> ⑤防火点検は法令に従い実施している <input type="radio"/> ⑥大規模災害に対する危機管理マニュアルを作成している <input type="radio"/> ⑦教職員や学生に大規模災害の研修会を開催している

		<input type="radio"/> ⑧大規模簿災害時における地域などとの連携体制を整備している
(5-4) 学生の健康管理	1. 学生の健康管理を行う組織体制の整備し運営しているか	<input type="radio"/> ①学校保健計画を策定している
		<input type="radio"/> ②学校医を専任している
		<input type="radio"/> ③担当職員を配置している
		<input type="radio"/> ④全校で定期健康診断を実施している
		<input type="radio"/> ⑤有所見者への再健診は学校医の責任で対応している
		<input type="radio"/> ⑥有所見者への再健診は学生に任せているが、再受診の催促は2回以上行っている
		<input type="radio"/> ⑦感染症や食中毒の予防の教育を実施している
		<input type="radio"/> ⑧実習前には感染症や食中毒の検査を実施している
		<input type="radio"/> ⑨心身の健康相談に対応している
		<input type="radio"/> ⑩連携している医療機関がある
(5-5) 財務運営	1. 事業計画等に基づき予算を編成し、適正に執行管理を行い、決算書を作成しているか	<input type="radio"/> ①主要な財務数値に関する財務分析を行い、学校及び法人の財務関係比率について指標や基準を定めている
		<input type="radio"/> ②学校及び法人の財務関係比率は上記の指標、基準に照らして評価が行われている
		<input type="radio"/> ③評価結果は十分である
		<input type="radio"/> ④予算規程、経理規程は整備されている
		<input type="radio"/> ⑤目的・目標に対応した予算になっている
		<input type="radio"/> ⑥各予算に根拠資料が添付されている
		<input type="radio"/> ⑦予算編成は各部門で作成している
		<input type="radio"/> ⑧各部門の責任者で構成する予算検討会議で検討している
		<input type="radio"/> ⑨事業計画及び予算は理事会で最終決定している
		<input type="radio"/> ⑩各予算の編成・決定過程は議事録が作成されている
		<input type="radio"/> ⑪期中で目標と実績のズレを確認している
		<input type="radio"/> ⑫予算超過が見込まれる場合、補正予算理事会を開催している
		<input type="radio"/> ⑬会計士等の専門家に相談する体制がある
	2. 学校及び法人運営の中長期的な財務基盤は	<input type="radio"/> ①学校法人会計基準の財務関係比率について目標を定めている
		<input type="radio"/> ②目標を達成している
		<input type="radio"/> ③目標を概ね達成している
		<input type="radio"/> ④目標を達成していない
		<input type="radio"/> ⑤中期計画を策定している

		安定して いるか	<input type="radio"/>	⑥中期計画は毎年、見直しをしている	
(5-6) 監査・財務 情報の公開	1. 私立学 校法及び 寄附行為 に基づき 適切に監 査を実施 している か	<input type="radio"/>	①監事・監査規程を作成している		
		<input type="radio"/>	②監事・監査規程にしたがって監査報告書を作成し理事会で報告して いる		
		<input type="radio"/>	③監事による監査を定期的に行っている		
		<input type="radio"/>	④監査に加え公認会計士等による外部監査を実施している		
	2. 私立学 校法に基 づく財務 情報公開 体制を整 備し適正 に運用し ているか	<input type="radio"/>	①情報公開規程や財務公開規程は明文化されている		
		<input type="radio"/>	②情報公開規程や財務公開規程は教職員が何時でも閲覧できるよう なっている		
		<input type="radio"/>	③公開が義務づけられている財務帳票、事業報告書はすべて作成して いる		
			④HPに掲載し公開している		
(学校関係者評価委員会による評価)					
・特に意見はなかった。					

関東福祉専門学校 学校関係者評価委員会 委員名簿

	氏名	職名等	区分
委員長	谷中 稔	志学会高等学校 学校長	高等学校関係者
委員	渋井 幸江	介護老人保健施設 勤務	保護者
委員	鈴木 晃	障がい福祉サービス事業所 夢工房翔裕園	卒業生
委員	丸山一之	税理士	専門家
委員	鈴木 効子	介護老人保健施設いこいの家 事務長	企業関係者
委員	牧 昇	特別養護老人ホーム川里苑 施設長	企業関係者